



【NP-02】

** 2016年9月(第3版)(新記載要領に基づく改訂)
* 2012年11月(第2版)

医療機器届出番号:27B1X00116000166

機械器具 74 医薬品注入器
一般医療機器 手動式圧注入調節装置 (JMDNコード:13100001)

コバメッド加圧バッグ

再使用禁止

【警告】

＜使用方法＞

使用する前に輸液バッグ内の空気を必ず排除すること。[輸液バッグ内の空気がラインに注入されると、空気塞栓を起こすおそれがある。]

【禁忌・禁止】

** <併用医療機器>

送気球以外の方法(電動ポンプ、院内配管等)で加圧を行わないこと。[急激な加圧により、袋の破裂など故障のおそれがある。]

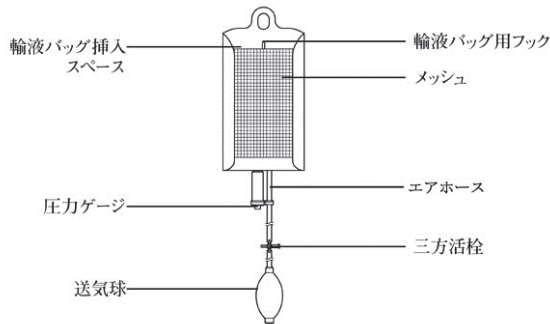
＜使用方法＞

再使用禁止。

【形状・構造及び原理等】

＜形状＞

本品は未滅菌品である。



＜組成＞

エアホース、本体とエアホースの接続部、メッシュ、圧力ゲージ：ポリ塩化ビニル樹脂(フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)を含む)

＜作動・動作原理＞

輸液用ソフトバッグに外から手動(ハンドポンプ)で一定圧を加えることによって滴下を調整する。

【使用目的又は効果】

＜使用目的＞

輸液ライン中の血液の凝固、逆流を防ぐために輸液バッグに圧力を加え輸液の滴下を調整する。

【使用方法等】

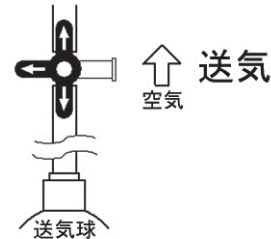
＜使用方法＞

1. 輸液バッグ内の空気を排除する。

** 2. 輸液バッグ1個を輸液バック挿入スペースに挿入する。

** 3. 輸液バッグの止め具を加圧バッグ側の輸液バッグ用フックに引っ掛け、加圧バッグをI.V.ポールなどに吊り下げる。

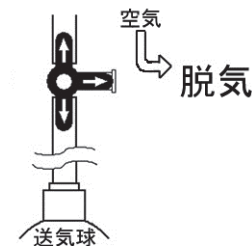
4. 三方活栓のハンドルを回し、図1のように合わせた後、送気球を繰り返し掴み、圧力ゲージが必要とされる圧力を示すまで加圧を行う。
(図1)



5. 圧力を維持するため、三方活栓のハンドルを回し、図2のように合わせる。
また、空気漏れがないか圧力ゲージの目盛を確認する。
(図2)



6. 脱気するには、三方活栓のハンドルを回し、図3のように合わせる。
(図3)



＜使用方法等に関連する使用上の注意＞

1. 使用中は輸液の残量に注意すること。
 2. 輸液バッグは、輸液バッグおよび加圧バッグ内に均一の圧がかかるように装着すること。
 3. 使用中は、圧力を定期的に確認し、圧力に低下が見られた場合、必要とされる圧力まで再度加圧を行うこと。
- ** 4. 40kPa(300mmHg)を超える加圧を行わないこと。[過剰な加圧により、製品機能の低下及び破損のおそれがある。]

【使用上の注意】

- ** 1. 相互作用(他の医薬品・医療機器等との併用に関すること)
(1) 併用禁忌(併用しないこと)

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
送気球以外 (電動ポンプ、院内配管等)	使用禁止	急激な加圧により、袋の破裂など故障のおそれがある。

【保管方法及び有効期間等】

* 1. 保管上の注意

水濡れに注意し、高温、多湿、直射日光のあたる場所を避けて室温で保管すること。

** <有効期間>

本品のラベルの使用期限を参照すること。

【製造販売者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元

日本メディカルネクスト株式会社

* 電話番号：06-6222-6606